

迎春 新年の抱負

日野町長 梅林 豊

明地峠から見た雲海



住民一人ひとりが主役 合併に向けて本格的に取り組む

新 年明けましておめでとございます。皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられたこと、心よりお慶びを申し上げます。

昨年、町政の重要課題である福祉、医療、農林業の振興、生活環境の整備、市町村合併などに積極的に取り組んできました。

なかでも11月には、鳥取県

西部地震の復興宣言。12月には、震災以来、今まで不通となっていた久住地区と黒坂地区を結ぶ県道菅沢日野線の開通式を行うことができました。

地震発生から3年間、住民の皆さんと一体になって復興に取り組む、まちは元気な姿に生まれ変わりました。

この間、多くの方々からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、国においては三位一体の改革が推進され、地方交付税（平成14年度一般会計の決算では約44%を占める）や補助金の削減をはじめ、公共事業などのハード事業の採択が難しくなっています。

このような厳しい財政状況の中、本町は、超高齢社会を迎えようとしています。また、平成16年度から米政策改革大綱が実施され、農業も大きな転換期を迎えています。

この地域を守り、発展させていくためには、住民の皆さんにもっと行政に関心を持っていたいただき、一人ひとりが主役になることがとても重要であると思っています。

これからも恵まれた自然と共生を図り、皆さんが健康で安心して住める快適なまちづくりを実現するために、江府町との合併を重要課題と位置づけて本格的に取り組んでいきます。

また、福祉、情報基盤、生活環境、産業の振興に力を注いでいきます。そして、元気な地域や各種団体などに対しましては、できる限りの支援をする考えであります。

今後とも、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。